

山形県柔道連盟会長 二戸 昭夫
 山形県高等学校体育連盟
 柔道専門部長 阿部 吉宏
 (公印省略)

第41回全国高等学校柔道選手権山形県予選大会の開催について

日頃より県高体連柔道部にご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。
 さて、標記のことにつきまして、下記のとおり開催いたしますので、貴校生徒の参加についてよろしく
 お願い致します。

記

- 1 主 催 山形県柔道連盟 山形県高等学校体育連盟
- 2 主 管 山形県高等学校体育連盟柔道専門部 山形市柔道連盟
- 3 期 日 平成30年11月24日(土) 8時50分～9時30分 計量(男女個人選手)
 9時30分～ 審判・監督会議(個人試合)
 10時30分～ 開会式(個人・団体選手・監督出席)
 11時00分～ 男女個人試合 ～表彰式
 11月25日(日) 8時30分～9時00分 計量(女子団体変更選手)
 9時00分～ 審判・監督会議(団体試合)
 9時30分～ 男女団体試合 ～閉会式
- 4 会 場 山形県体育館 〒990-0826 山形市霞城町1-2 TEL. 023-644-5656

5 競技規則

(1) 試合は国際柔道連盟試合審判規定ならびに(公団)全国高体連柔道専門部申し合わせ事項による。

①団体試合

- ア 試合時間は3分とする(ただし準決勝・決勝は4分)
- イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とする。
- ウ チームの内容が同等の場合は代表戦を行う。代表戦の方法は「6 競技方法」で定める。

②個人試合

- ア 試合時間は3分とする(ただし準決勝・決勝は4分)
- イ 「優勢勝ち」の判定基準は「技あり」以上または「僅差」(「指導」差2)とする。
- ウ 試合終了時に技による評価が同等の場合は、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(2) 柔道衣のコントロールは各自の責任で行う。試合中に違反が発覚した場合は、「反則負け」とする。

6 競技方法

(1) 団体試合

(ア) 男子の部

- ① 試合はトーナメント戦で行う。
- ② 各チーム5名で行い、試合毎にオーダーの変更を認める。
- ③ 「勝ち抜き試合」とし、大将同士が「引き分け」の場合は、代表選手を任意で選出して代表戦を行う。
 代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「僅差」(「指導」差2)以上とし、試合終了時に得点差がない場合はゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行い、必ず勝敗を決する。

(イ) 女子の部

- ① 試合はトーナメント法で実施する。
- ② 体重別とし、先鋒52kg以下、中堅63kg以下、大将無差別の3名で行う。試合ごとのオーダー変更は行わない。
- ③ 「点取り試合」とし、勝敗の内容が同じ場合は、代表戦を行う。
 代表戦は引き分け対戦の中から抽選で選び、ゴールデンスコア方式の延長戦を時間無制限で行う。代表戦の優勢勝ちの判定基準は「技あり」または「指導1」以上とする。なお引き分け対戦がない場合は、両者反則負けで勝敗がつかない対戦を代表戦とする。また、両チームが選手の負傷などで2名しかおらず、引き分け対戦がない場合などは、代表選手を全ての中から抽選で選出して、ゴールデンスコア方式の試合を時間無制限で行う。

(2) 個人試合

(ア) 試合はトーナメント戦で行う。

(イ) 階級は男子60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、無差別。女子48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、無差別。

7 参加資格

- (1) 県高体連に加盟している高等学校生徒で、県高体連柔道部及び全柔連に登録されていること。
- (2) 平成12年4月2以降に生まれた者(平成30年4月2日現在で18歳未満であり、第1・2学年に在籍)であり、同学年での出場は1回限りとする。
- (3) チームの編成において、全日制、定時制、通信制の生徒による混合は認めない。
- (4) 転校後6ヶ月未満の者は出場できない。(外国人留学生もこれに準ずる。)ただし、一家転住等の理由により止むを得ない場合は、県高体連会長の許可があればこの限りではない。
- (5) 選手は学校長の責任において参加させ、特に支障のある者は参加させない。
- (6) 外国人留学生については、卒業を目的として入学していること。(短期留学生は認めない。)
- (7) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる参加を認める。

8 参加制限

(1) 男子団体試合

- ① オープン参加とし、各校1チームとする。ただし、各地区予選を経るものとする。
- ② チームの編成は監督1名、選手7名、マネージャー1名の計9名とし、試合の選手は3名以上いなければならない。

(2) 女子団体試合

- ① オープン参加とし、各校1チームとする。ただし、各地区予選を経るものとする。
- ② チームの編成は監督1名、選手5名、マネージャー1名の計7名とし、試合の選手は2名以上いなければならない。

(3) 個人試合

- ① 選手は各地区予選を経た者とする。
- ② 各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

9 参加申込

- (1) 別紙申込用紙に記入のうえ、納入添付書を添えて10月30日(火)必着で下記宛申込むこと。

〒990-2447 山形市成沢西3-4-5

東海大学山形高等学校 石川哲也 TEL.023-688-3022

- (2) 宿泊の斡旋はしない。必要な場合は各校で確保すること。

10 参加料

- ・試合出場者1名 1000円
 - ・参加料は下記口座へ、10月30日(火)まで振り込むこと。ただし、手数料は各校負担。
 - ※ 団体と個人両方出場しても試合出場者1名 1000円に変更になります。
- 山形銀行 県庁支店 普通口座 口座番号3103277
「村山地区高体連柔道専門部代表 石川哲也」

11 組合せ

- (1) 男女団体個人試合とも、次のとおりとする。
 - ① 県新人大会ベスト4
 - ② 各地区1位の順にシードする。* 同地区が各グループに地区ベスト4等、バランスよく入るように組み合わせる。
- (2) 組合せ抽選日; 11月 8日(木) 於 (山形南高校 会議室)

12 連絡事項

- (1) オーダー及び選手の変更については、届出用紙を用いて監督会議開始までに、事務局に提出すること。ただし、選手の変更は1名までとする。
- (2) 男女団体試合の監督は、オーダー個票(縦18cm横37cm)を選手数+1枚準備し、横書きの太字で、学校名、選手名を記入したものを角封筒に入れて提出すること。
- (3) 団体チーム及び個人の監督は、男女が同一にならないようにすること。
- (4) 男女団体の昨年の優勝校は、優勝旗・優勝杯を持参し返還すること。また、個人優勝者の学校は、優勝杯を持参し、返還すること。

13 その他

- ・団体、個人とも3位まで表彰する。
- ・男女とも優勝したチームが、来春3月21日(木)日本武道館での全国大会への出場権を得る。
- ・各階級男女とも優勝した選手が、来春3月20日(水)日本武道館での全国大会への出場権を得る。
- ・男女とも上位4チームが、来年1月26日(土)秋田県での東北大会への出場権を得る。
- ・男子個人各階級上位4名、女子個人各階級上位2名が、来年1月27日(日)東北大会の出場権を得る。
- ※ 個人で出場権を得た者が、怪我等で棄権する場合は、その事実が判明次第早急に委員長に連絡すること。代替え選手については別途審議のうえ決定する。(基本的に同校の選手変更は認めない)